

マイコレクション

狸の置物

浅川 泰敬さん
徳島津田町



浅川泰敬さん（行波）が名譽住職を務める津田寺は、徳島に伝わる民話「阿波の狸合戦」にちなむ重要な舞台のひとつです。

「寺では四国の狸の総帥、阿波の六右衛門が鎮座する穴観音の管理をしており、寺の境内には狸合戦で六右衛門方の大将として奮戦し戦死した権右衛門の祠があるなど、狸とは縁があまりまてね。それなら狸を集めてみようかと」

昭和42、43年頃から収集し始めたという大小さまざまな狸たちが、幅2間はある大きなガラスケースの中にぎっしり。ご自身が祖先でまめたものもあれば、家内、両親、兄弟、姪など親族からの頂き物もあり、うーん、頂いた物の方が多いかなあ」と浅川さん。

書道とコーラスが趣味という陽子夫人が少し離れた

場所から控え目な声で「集めるのが好きなんです。特に古い物が好きですねえ」

愛嬌ある狸の置物とは別に、浅川さんは知る人ぞ知るコレクター。書画などに造詣の深かった父泰道（たいていどう）さん（平成4年没）の影響もあり、特に圓山恋華の流れをくむ津田町出身の画人・団藍舟（だんらんしゅう、1873-1935）の作品収集などはその研究とともに趣味の域を超えたすばらしさ。コレクションを語る浅川さんの穏やかな口調と目は、語るほどに輝きを増すようでした。（中）



写真 藤澤 貴夫

団藍舟